―令和8年10月10日発行（No.318）―

ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行　**ふるさと上越ネットワーク事務局**
〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-1-2
TEL：03-5244-5138　FAX：03-3294-6106

●本庁担当
上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室
〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3
TEL：025-520-5625

ホームページ▶　ふるさと上越

9/25 直江津国府別院「お寺 de お月見カフェ」撮影：磯田一裕さん

「たより」No.318　目次

会員数と「ふるさと市場」販売報告　1
Ｊネットの活動とお知らせ…… 2
俳句ひろば…… 3
水彩画展のご案内…… 3
Ｊネットの活動とお知らせ②…… 3
同窓会・郷友会コーナー…… 3
会員ひろば…… 4
◇スポーツよもやま話　瀧澤康二
◇上越妙高駅から見える、新しい「ふるさと上越」の風景　平原 匡
◇『まちのたてとよこを紡ぎ、上越らしい暮らしをつくる』　堀田滉樹
同窓会・郷友会コーナー…… 7
瀧川鯉橋師匠 高座予定 …… 7
上越タイムス・上越ケーブルビジョン
（アクセス方法のご案内）…… 7
上越産品販売のお知らせ…… 7
ＪネットＨＰのご案内 …… 7
上越市からのお知らせ…… 8
謙信公祭／
なおえつうみまちアートスナップ… 8

会員数と「ふるさと市場」販売報告

（１）会員数 511名　（令和8年10月1日現在）
（２）ふるさと市場の販売取次状況　令和8年9月　128点　296,692円　※前年同月　27点　78,744円

Ｊネットの活動とお知らせ

この度の8月中旬および9月20日過ぎの大雨で被災されました方々、ご家族の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
猛暑の後は雨が続いていますが、皆さまくれぐれもご自愛ください。

会長　小坂庸雄

◆9月10日(木)湯島にてサロン開催

今月のサロンは33名の参加で賑わいました。スピーチは、久々の参加で、スケッチ倶楽部を主宰している水沢春和さん、初参加の春日部市役所OBの春日稔さん、そして奥様の実家が上越市のゲスト吉村哲哉さん。その後柿沼さんのギター演奏、今回はビートルズの曲とサン・トア・マミーで一段盛り上がりました。

（小坂庸雄 記）

差し入れは、樫野さんから雪中梅、春日さんから越後武士、浜野さん/長谷川さんから焼売、水沢さんから新潟のおかき他、内田さんからみかん、会長から海苔巻き、有り難うございました。（事務局）

【次回以降のサロン】 毎月第２木曜日開催　◆ **R8.11月12日（木）**　◆ **R8.12月10日（木）**

参加費1,500円（**予約不要・途中からのご参加もOKです。）開催時間17:30～19:00**

会場：東京新潟県人会館「ふれあいふるさと 館」〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6　TEL：03-3832-7619

東京新潟県人会館アクセス（電車）

●**東京メトロ千代田線**「湯島駅」6 番出口から徒歩 1 分　●**東京メトロ銀座線**「上野広小路駅」4 番出口から徒歩 5 分

●**都営地下鉄大江戸線**「上野御徒町駅」A4 番出口から徒歩 5 分 ● **JR 山手線・京浜東北線**「御徒町駅」南口から徒歩 6 分

◆【上越の食を、東京で】根津2026年9月12日(土)

9月12日（土）夜、上越市産の農産物を首都圏の飲食店へ届ける、市関連のプロジェクト「ふるサポ上越」https://furusuppo.jp/主催のイベントが文京区根津の「ねづくりや」で開催されました。

約30名が参加し、この内半数がＪネットからの参加でした。また上越からも数名参加されました。

店内で上越産品の頸城牛のサイコロステーキ、する天、茄子・茗荷・枝豆などの野菜料理、お酒も頂きながら懇親。主催の新田さん、市の小林さんほかのプレゼンも用意されていました。

どの食材も新鮮で美味しく、日本酒も相当消費されていました。（小坂庸雄 記）

俳句ひろば

芋掘りや土の匂ひも懐かしみ

長き夜は甲斐なき夢の絵巻物

遠花火ちょっと右寄れ大けやき

出番まで芋は筵でごろ寝かな

敬老日聴こえぬ話つれ笑ひ

乏硯

水彩画展のご紹介

◆Jネット会員 水沢春和さん「水彩画展」のご案内

「心癒す風景との出会い」

会期　2026年11月12日(木)～11月18日(水)10：00～17：00（最終日～15：00）

住所　神奈川県相模原市緑区橋本6-27-1　midoliyaギャラリー＆スペース

アクセス：JR横浜線・京王線　「橋本駅」北口より徒歩5分

四季おりおりの風景など近年の作品を展示いたします。（水沢春和）

Jネットの活動とお知らせ②

◆Jネット近畿地区サロンのご案内　開催日：令和8年12月5日(土) 正午より

R８年度近畿地区サロンを開催します。会場の都合上事前予約にてご参加いただけます。ご参加ご希望の方は、Jネット事務局へお申込ください。みなさまのご参加、お待ちしております。

会　場：ガーデンシティクラブ大阪　大阪府大阪市北区梅田2-5-25

JR大阪駅、阪神梅田駅　直結　約5分　参加費：6,000円（予定）

お申込先：Jネット事務局　TEL：03-5244-5138　Mail：k.miyazato@araipt.co.jp

◆第64回Jネット勉強会順延のお知らせ 鳩山会館の鑑賞

台風26号が南関東に接近し、9月30日に予定していました勉強会は順延させていただきました。改めて日程が決まりましたらご連絡申し上げます。

◆第65回Jネット勉強会　海の森公園の散策 令和8年11月28日(土)

上記勉強会の要領は次の通りです。（お申込は、Jネット事務局まで）

①　集合時間　9時15分

②　集合場所　新木場駅　無料シャトルバス乗り場（新木場駅南側駅前ロータリー交番近く）

今回は、昭和50年後半から東京の都市公害の一つとして、大きくクローズアップされた東京港にあったごみの埋立地を憩いの森に変えた公園の散策です。多数のボランティアの方々の植栽と技術革新により、従来の埋立地にあった悪臭とごみの拡散を無くした公園です。公園内を散策して、新しい埋立地を実感し海風の心地よさを満喫しませんか。会員の吉田元永さんのご紹介で、当日も海の森公園を案内していただけます。皆さまのご参加をお待ちしております。なお詳細は同封のチラシをご覧ください。

◆ スポーツよもやま話

瀧澤康二　（元日本体育大学副学長）

バレーボール界の若武者、髙橋藍選手について

バレーボールといえば、多くのJネット会員皆さんの脳裏には1964年東京五輪大会を制した「東洋の魔女」や1972年ミュンヘン五輪大会の「時間差攻撃」戦術で優勝した選手の面々が懐かしく浮かんでくることでしょう。

直近では髙橋藍選手（以下、藍選手）の人気は、日本国内に限らず世界的だといわれています。なぜでしょうか？男前だけではありません。

藍選手は、21世紀生まれ（2001年9月2日）です。兄（2000年1月14日生まれ）、塁選手の影響を受け、小学校からバレーボールの練習に励んでいました。高校（京都東山）３年生の時に春高バレーで同校を優勝に導くなど大活躍し、2020年日体大への進学と同時に21世紀生れ初の日本代表選手に選ばれます。日体大1年生の時は、日本大学で選手として活躍していた塁選手とは兄弟ライバルとして戦っていました。

藍選手は更に技術を磨くため、日体大在学のままイタリアへ渡ります。その、ほぼ3年間はオンラインで授業に参加するなど、卒業に必要な単位取得にも努力していたことはいうまでもありません。卒業式にはビデオで参加し、後日みごと卒業証書を手にしています。

あるバレーボール指導者は【藍選手の最大の特徴は、圧倒的なバレーボールIQの高さと空間把握能力にあり、コート全体を見て瞬時に「今何が必要か？」が判断できる選手だ】と、とりわけ対人・チームゲームにとっては不可欠な俯瞰力の高さに注目しています。

藍選手は、“二刀流”！？

藍選手は万能型ですが、レシーブとアタック（サーブも含む）に極めて優れています。特に、彼のバックアタックは定評があり、防御と攻撃の“二刀流”！？が連想されます。

バレーボールでは作戦上、特に選手の専門性が問われます。そのバレーボールでは近年、防御に特化したリベロを配置して攻撃に備える戦術が一般化されています。この制度は1998年に創設されました。背の高い選手が有利なこの競技において、背の低い選手も活躍できるように、リベロという守備専門のポジションが制度化されたということです。

リベロの語源は、イタリア語の libero で、意味は 自由 ということですが、サーブやスパイク、ブロックなどは禁止されています。リベロは守備専門で、後衛のみでプレーができ、後衛選手とだけ無制限に入れ替わることができます。ちなみに、中学に入っても身長がさほど高くなかった藍少年は当時、リベロとして活躍していたといわれています。

藍選手のプレーは　“動く芸術”！？

彼の武器は、防御と攻撃の連続プレーにみられます。リベロに匹敵するような守備とそこからのバックアタックは見事です。このようなコート内で素早く華麗に暴れまわる藍選手の姿が観る人誰の心をも刺激し、魅了します。それは、まさに「動く芸術」です。彼は天から授かった才能をたっぷり発現し、世のため人のために尽くしています。このような藍選手だからこそ、世界中のバレーボールファンを虜にしているといえるでしょう。奇遇にもその彼は、私の59才の誕生日に生まれています。益々応援したくなりました。ラン君、頑張れ！

◆ 上越妙高駅から見える、新しい「ふるさと上越」の風景

㈱北信越地域資源研究所 平原 匡

上越妙高駅西口出て１分です。

和雑貨おおすぎや夏編

フルサットアップスで行われる起業セミナーの様子

レンタルサイクル

北陸新幹線の開業から11年、上越妙高駅西口にフルサットを開業してから10年が経ちました。

今回、「Jネットたより」への寄稿のお声がけをいただいた際、「フルサットはまだまだ認知度が低いのではないか」というお話もいただきました。毎日のようにここにいる私には、何が知られていて、何が知られていないのか、実のところよく分かりません（笑）。

そこで今回は施設紹介というより、ここで毎日私が見ている「今の上越妙高駅前の風景」をお伝えしたいと思います。

朝、新幹線を降りた人がやってきて、パソコンを開いて仕事をします。昼になれば飲食店にお客さんが入り、「この地域で仕事を始めたい」という相談を受けることもあります。東京の企業の方と、この地域で何ができるかを話す日もあります。

旅行で来た人が自転車を借りて出かけます。行き先で意外に多いのが鮫ヶ尾城址です。高田城より多いのには私も驚きました。新幹線から自転車に乗り換えて地域へ出かけていく。10年前に思い描いた「地域の玄関」という風景が、少しずつ日常になってきました。駐車場やカーシェア、荷物預かりも始め、歩くことに不安のある方には小さな電動の乗り物「WHILL（ウィル）」も用意しています。

最近は新しい飲食店の開業も続き、Uターンして商売を始める人も現れました。「和雑貨おおすぎや」が企画した「古布で作ったシャツ展」のように、地域の方が企画を持ち込むこともあります。私たちがすべてを企画するのではなく、いろいろな人がこの場所を使い、また新しい人と出会う。そんなことが増えてきました。

10年前から、上越妙高駅をこの地域の「旅の起点」にしたいという思いはありました。新幹線を降りて終わりではなく、ここから地域へ出かけてもらう。そのために何が必要なのか、駅を使う人たちを見ながら一つずつ試してきました。

この11年間で仕事の仕方も変わりました。上越にいながら東京の会社や全国のお客さんと仕事をする。逆に東京の人が新幹線で来て、ここで仕事をして帰る。そんなことも珍しくありません。最近ではAIが、調べ物から文章や資料づくりまで手伝ってくれます。だからこそ、実際にその土地へ行き、人と会い、そこで生まれる偶然の出会いの意味は、むしろ大きくなっているように感じます。駅で降りる。歩く。食べる。人と話す。すると、スマホの画面の中だけでは起きなかったことが始まります。そして幸い、私はほぼ毎日フルサットにいます（笑）。ここには企業や行政、大学、地域の人などがやってきます。「こんなことができないだろうか」と話し、誰かが加わり、まずやってみる。違えば直して、また試す。最近はこれを「共創」と呼ぶようですが、私たちにとっては、一緒に試し、変えながら、仕事をつくることだと思っています。

駅前に10年以上いると、「賑わい」という言葉についても考えます。人口も暮らし方も働き方も変わった今、かつてのように大勢の人が歩く風景を取り戻すことだけが、地方の元気さではないように思います。平日の午前中、一人の人が仕事をする。小さなオフィスでは会社の人が働く。一台の自転車が鮫ヶ尾城址へ向かう。誰かが昼ご飯を食べ、新しい相談を持った人がやってくる。見た目には静かです。でも、そこでは人が働き、お金が動き、新しい仕事が生まれています。大勢の人が集まる一日の「賑わい」だけではなく、こうした小さな「営み」が毎日続いていくこと。それが、これからの地方には大切なのではないかと思っています。

皆さんが記憶されている上越とは、少し違う風景かもしれません。昔のような賑やかさとは少し違う。でも、今の上越には、こんな風景も生まれています。それもまた、これからの「ふるさと上越」の風景なのだと思っています。

◆『まちのたてとよこを紡ぎ、上越らしい暮らしをつくる』

堀田滉樹（上越市在住）

上越市に生まれ育ち、高校までは野球一筋の日々でした。大学進学で東京に出て、コロナ禍をきっかけに地方を転々とする中で、山崎亮さんの『コミュニティデザイン』という本と出会い、まちづくりに興味を持ったのが今の活動の原点です。福島県葛尾村での地域新電力の広報やインターンシップのコーディネート、尾道でのゲストハウス暮らしの中で「地域のコミュニティがセーフティネットになる」という体験をし、その感動が忘れられず、大学を休学して故郷・高田で書店を立ち上げることを決めました。

たてよこ書店は2022年12月にオープン。まちの歴史や文化などの「たて」のつながりと、地域の事業者や住民など「よこ」のつながりを紡いでいくことで、上越らしさのある暮らしをつくりたい。そんな思いからスタートしました。いまは東京と上越を二週間ずつ往復する二拠点生活をしながら、書店を運営しつつ、いくつかのまちづくりにも関わっています。春の高田城址公園観桜会では、建築家や家具職人らと製作した「モバイル屋台」を「動くごみ箱」に見立て、地元の中高生らと会場を練り歩きながら、食べ歩きで出た来場者のゴミを回収して回りました。これは単なる清掃活動ではありません。モバイル屋台というツールを介して、地元の若者が「まちに関わる」というきっかけをつくっています。

2026年3月には、近年雁木町家をリノベーションした店舗が高田エリアに増えていることを受け、それらを巡るまち歩き企画を実施しました。高田駅周辺30ヶ所がスタンプラリーの拠点となり、高田の暮らしと文化の良さを再発見してもらう試みです。1週間で350人～400人ほどが参加し、新旧さまざまなお店を歩いて巡りながら高田のまちを楽しんでくださいました。来年3月にも規模を拡大して実施予定です。

そして、いまいちばん力を注いでいるのが瞽女落語制作プロジェクトです。三味線と唄で農山村を巡業していた盲目の女性旅芸人・瞽女。昭和50年代に途絶えてしまった、高田が誇るこの文化を落語という話芸と組み合わせて今に蘇らせようという試みです。Forbes Japanの「世界を変える30歳未満30人」にも選出された落語家の桂枝之進さんが創作落語の制作を担当し、11月15日にいよいよ完成披露公演を迎えます。また、民謡歌手・月岡祐紀子さんにもご出演いただき、瞽女唄も披露いたします。瞽女をテーマにした創作落語と瞽女唄がひとつの舞台で出会う、歴史的な一瞬です。ぜひ高田世界館へ足をお運びください。申し込みはQRコード先のイベントページもしくは「きものの小川」さんへ直接お電話していただく形でも受け付けております。公演のチラシと大変恐縮ながら寄付のご案内についても同封させていただきました。皆様にもお力添えをいただきながら、高田瞽女の文化を後世に受け継いでいきたいと思っております。

これからもエネルギッシュに事業を続け、高田のまちの豊かな日常をつくっていけたらと思っています。ご迷惑をおかけすることも多々あるかと思いますが、何卒よろしくお願いいたします。

たてよこ書店（上越市東本町2-1-4）

店主　堀田滉樹

連絡先：tateyokosyoten214@gmail.com

携帯電話：090-5423-4688

▼瞽女落語完成披露公演

日時／2026年11月15日（日）

14時開演（開場13時30分）

場所／高田世界館（上越市本町6-4-21）

料金／2,000円

出演／桂枝之進・月岡祐紀子

申し込み／左の二次元コード
または「きものの小川」まで
TEL：025-522-3400

◀お申込はこちらから

同窓会・郷友会コーナー

◆直江津高等学校・直江津中等教育学校同窓会関東支部総会のお知らせ

日時：令和８年 11 月 14 日（土）　正午～午後３時
会場：アルカディア市ヶ谷私学会館（JR・地下鉄「市ヶ谷」駅、徒歩２分）
　　東京都千代田区九段北 4-2-25　電話：03-3261-9921
会費：１万円
　　（但し、令和４年以降卒業の方は 5,000 円、学生は 2,000 円、令和 8 年卒業の方は無料）
申し込みお問合せ先：090-4730-9032（関東支部長：髙原隆）まで
　同窓の皆様のご参加をお待ちしております。

瀧川鯉橋師匠　高座予定　鯉橋：090-4730-9032　rik_yoh_taki@taupe.plala.or.jp（鯉橋メール）

◇10/20（火）「七人の侍」～流浪の落語会～
　　＜11/30（月）、12/23（水）も＞
時　間：午后１時～３時半ごろ
木戸銭：1,500円
出　演：鯉朝、枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、藍馬
会　場：お江戸両国亭（墨田区両国4-30-4）

◇10/21（水）「鯉橋の会in広小路亭」
時　間：午后６時～８時半
木戸銭：2,000円（前売・予約1,500円）
出　演：仁馬、鯉橋、米福ーお仲入りー鯉丸、
　　うめ吉、鯉橋（出演順）
お問合せ：鯉橋まで

☆ブログ～七転び八起の末のホンダラダ～https://rikyoh3194.hatenablog.com/　どうぞご覧くださいませ　鯉橋拝

◇10/24（土）登戸　長念寺落語会
時　間：午后２時～４時45分
木戸銭：2,500円（前売2,000円）
出　演：かけ橋、鯉橋、宮田 陽・昇、柳橋
会　場：長念寺本堂（川崎市多摩区登戸1416）
お問合せ：044-911-2549（長念寺）

◇10/31（土）梶原いろは亭「なかよしおじさんズ」
時　間：午后１時～３時ごろ
木戸銭：2,500円（予約2,000円）
出　演：鯉橋、小助六、夢丸
会　場：梶原いろは亭（上中里3-1-4）
お問合せ：03-6322-1622（日・水の昼間）

11/8（日）昭月落語会（新川崎または鹿島田）
午后３時～５時。詳細未定。

上越タイムス電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法（会員のみ）

◆Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

① JネットＨＰ右肩「Jネット会員メニュー」をクリック ②「ログインはこちら」をクリックし各社のＨＰへ
③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。

上越タイムス　糸魚川タイムス　電子版

上越産品販売のお知らせ

● Ｊネットふるさと市場 「取次販売商品一覧」

会員は送料無料でお取り寄せができますので、どうぞご利用ください。各社パンフ、取次販売商品一覧（Ａ４版１枚）を同封にてお届けします。ご希望の方には、ご注文用紙をお送りしますので事務局までご連絡ください。（お電話、メールでのご注文もお待ちしています。）

● 上越特産市場

JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモールです。https://www.joetsu-tokusan.jp/

Ｊネット　ホームページ

◆ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

「たより」を全ページカラーでご覧いただけ、上越市の四季の写真他、掲載は多様です。
「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンでは、右のコードよりご覧いただけます。

上越市からのお知らせ

◇市内で稲刈り作業が進み、新米の発送が始まりました！

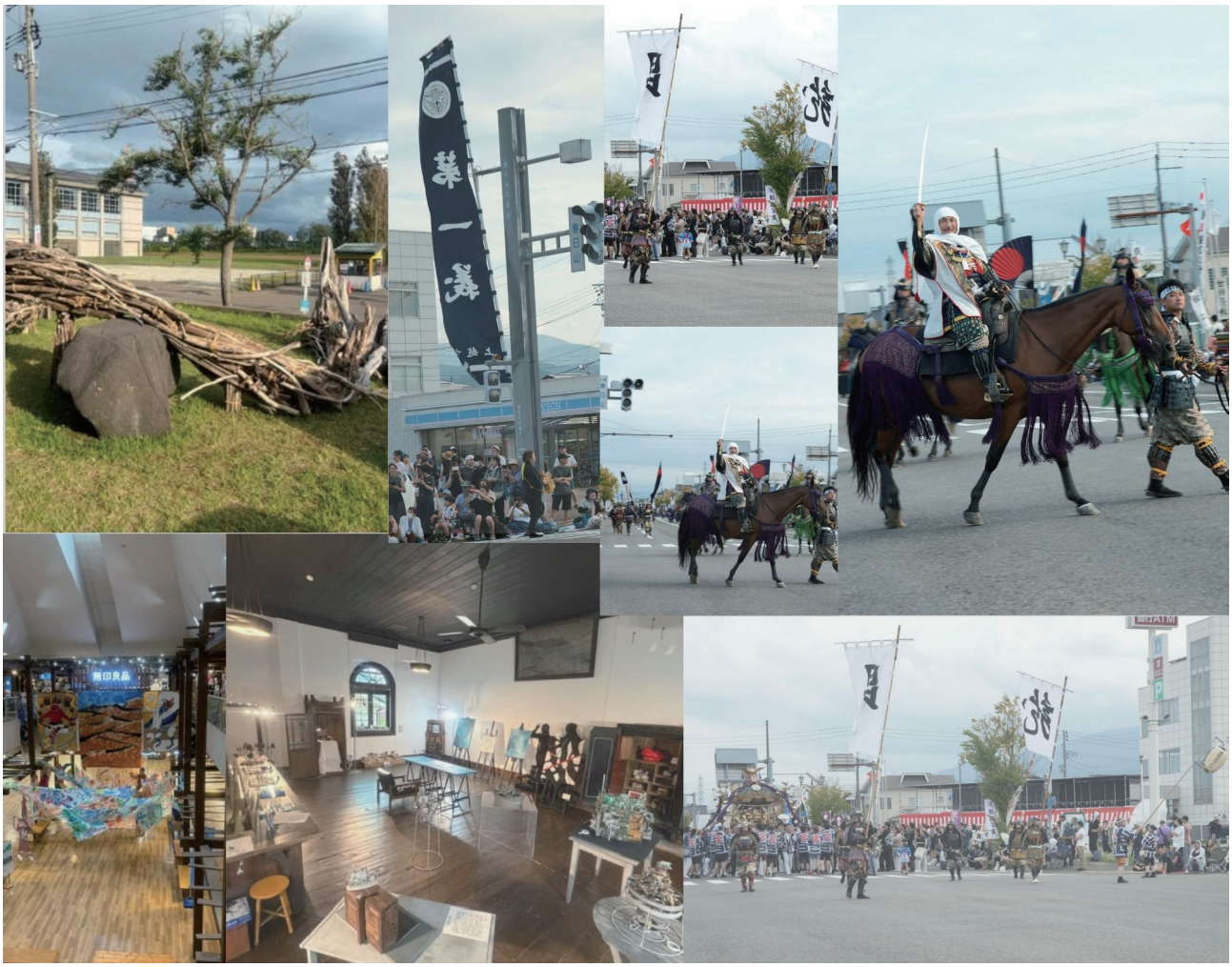
上越市では各所で稲刈り作業が行われ、美味しい新米の提供が始まりつつあります。

5月に田植え体験を行った板倉区の田んぼでは、9月下旬に稲刈り体験を予定していましたが、台風接近の影響により中止となりました。地域の方々、ふるさと納税によるご寄附をされた首都圏等にお住いのご家族など、皆さんで収穫予定だった稲の刈り取り作業の様子は、YouTubeにて動画で見ることができますので、ぜひご覧ください。

当市のふるさと納税返礼品でも、先行予約いただいた新米の発送準備が進んでいます。今年も、人気のコシヒカリや新之助をはじめ、毎月届く定期便や各銘柄の食べ比べセットなどをご用意しております。上越自慢の美味しいお米を、ぜひ周りの皆さまにも広めていただけると嬉しいです！

総合政策課ふるさと応援室（TEL：025-520-5625）

謙信公祭 / なおえつうみまちアート スナップ



◎次号「たより」は令和8年11月25日の発行です。

※9/25　国府別院「お寺deお月見カフェ」は、ＪネットＨＰをごらんください。

写真提供　謙信公祭（松本栄規さん）
なおえつうみまちアート（宮崎俊英さん）